

# 11月のどきどき

## 児童と楽しいひと時

昔の遊びや室内スポーツで小学生との交流を目的に、高齢者大学が11月6日に安平小学校で行われました。おはじきや竹トンボ飛ばしなど、児童たちは日ごろ遊ぶことがないゲームに夢中。高齢者の皆さんも子供たちの表情を見て楽しそうでした。昼には一緒に給食を食べ、終始和やかな雰囲気にも包まれていました。



昔のゲームの遊び方を学ぶ児童

## 屋外リンクで落ち葉拾い

本格的なスケートシーズン間近ですが、11月8日に早来小学校の児童やPTAの皆さんがリンクづくり前の屋外スケートリンクにたまった落ち葉や砂の除去作業をボランティアで実施しました。集まった親子連れ約70人はほうきやスコップを使ってコンクリートのコースに落ちた木の葉をかき集め軽トラックに積み込み、作業は1時間ほどで終了。12月中旬にはスケートを楽しむことができるとのことで、学校の授業にも利用されます。



ほうきを使って落ち葉をかき集める

## 気迫に満ちた小学生大会

第12回町長杯小学生アイスホッケー大会が11月8日と9日にせいこドームで開催され、



3年生以下の低学年7チームと4年生以上の高学年6チームが出場。試合はトーナメント方式で行われ、パッパを奪い合う気迫に満ちた場面が随所に見られ、得点が入るたびに観客席から拍手が起きていました。

成績は次のとおりです。

**低学年の部** 優勝：苦小牧

BULLET、準優勝：月寒

ストロンガー、第3位：泊ブルーマリンシャークス。

**高学年の部** 優勝：苦小牧

BULLET、準優勝：月寒

ストロンガー、第3位：旭川サンリバーズ。

ストロンガー、第3位：旭川サンリバーズ。

## 講演は真剣に、演芸発表は楽しく

11月13日 追分公民館で安平町老人クラブ連合会研修大会が開催され、約280人の高齢者が出席しました。

開会式の中で長年老人クラブの発展に尽くされた7名の方を表彰。研修会は、「認知症の理解～認知症の予防と対応について」というテーマで社会福祉法人幸清会理事長大久保幸積さんが講演を行い、真剣にメモを取る聴衆の姿もありました。午後から会員による演芸発表。カラオケや舞踊などが披露され、会場の皆さんは歌や踊りを見ながら楽しそうな様子でした。



真剣に講演を聞く参加者の皆さん

## 眞鍋氏に北海道産業貢献賞を贈呈

永年にわたり町の観光事業の推進に尽力された眞鍋高一人さんに北海道産業貢献賞が贈られ、11月14日に札幌市で贈呈式が行われました。

眞鍋さんは昭和56年に追分町観光事業の実行メンバーに就任。平成3年に旧追分町観光協会会長となり、おいわけメロンまつりなどの実行委員長を務め、地域観光の活性化や郷土芸能の普及振興において中心的な役割を担い、町村合併後も観光協会の統一に向けて尽力されました。

その功績が評価され今回の受賞となりました。

